

「ムジンバ県における地域活性化に向けた 農民自立支援プロジェクト(第3フェーズ)」 事業引渡式

2012年10月30日



上段左: JOCAにより支援を受けた農民が販売する農作物

上段右: JOCAにより育成された伝達農家による山羊投資プログラムに関するプレゼンテーション

下段左: 伝達農家による活動発表

下段右: 集合写真(左から: 小林参事官、ムワンザ農業・食糧安全保障大臣、丹羽JOCAマラウイ代表、金子JOCA代表)

2012年10月30日、マラウイ北部ムジンバ県にて、日本NGO連携無償資金協力案件「ムジンバ県における地域活性化に向けた農民自立支援プロジェクト(第3フェーズ)」の事業引渡式が行われました。本式典は青年海外協力協会主催が主催し、当館より小林参事官、マラウイ政府よりムワンザ農業・食糧安全保障大臣が出席しました。日本政府は本事業に対し、2009年以来、契約ベースで100万米ドル以上を支援しています。本事業は、ムジンバ県の農民に対し「モノ」の援助に頼らない、農業技術指導や組織研修を通じ、農民の自立支援を行ってきました。とりわけJOCAが導入したニンニク栽培はその換金性の高さにより同地域の農民の間で普及しています。

